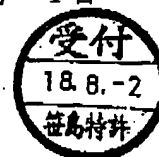


整理番号 102-0425

発送番号 325475 1/
発送日 平成18年 8月 1日

拒絶理由通知書

18.9.30

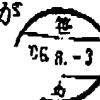


特許出願の番号 特願2002-313374
起案日 平成18年 7月24日
特許庁審査官 増岡 亘 9143 3J00
特許出願人代理人 笹島 富二雄 様
適用条文 第29条第2項、第36条

NDU15857
P102-0425
新田

A50351-451

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。



理 由

1. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。
2. この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第36条第6項第2号に規定する要件を満たしていない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項 1、2
- ・引用文献等 1
- ・備考

引用文献1には、摩擦クラッチが切断されると共に歯車式変速機がニュートラルに変速された後に、アクセル開度が所定値以上になると、歯車式変速機を車速に応じた変速段に変速させると共に、摩擦クラッチを接続させることが記載されている。

また、引用文献1には、摩擦クラッチを半クラッチ状態を経て徐々に接続させることも記載されている。

- ・請求項 3
- ・引用文献等 1～3
- ・備考

引用文献2、3には、摩擦クラッチが切断されると共に歯車式変速機がニュートラルに変速された後に、車速が所定値未満であれば、歯車式変速機を発進段に